

平成 27 年度事業・活動報告

特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター

【事業の成果】

平成 27 年度は、旭川市市民活動交流センター指定管理第 2 期目の初年度となりました。旭川市では指定管理期間が 5 年で区切られ、5 年の指定管理期間が終わりますと、また新たに次期指定管理者を募集することになります。おかげさまで旭川 NPO サポートセンターは、これまでの実績が認められ 2 期目も指定管理者として管理運営できることとなりました。

27 年度は、旭川市市民活動交流センター開設 5 周年にもあたり、6 月には 5 周年記念イベントを開催いたしました。さらに、7 月には NHK と気象台主催の子ども向け防災イベントを周辺の公的施設や関連機関とも連携して実施することができ、これまで以上に協働の取り組みの推進につながりました。

また、これまで旭川 NPO サポートセンターでは子育て関連の事業を実施しておりますが、27 年度旭川市子育て支援課主催事業の「子育てサポーター実践講座」と「結婚サポーター養成講座」のプロポーザルに応募し、事業受託ができました。10 月からそれぞれの事業をスタートし、市民の関心が高いこともあり、多くの受講参加がありました。新たに誕生したサポーターの方々は、活動に意欲的な方たちで、イベントなどでご活躍頂いております。講座を通じて、受講した市民の方々が地域でキーパーソンとしてご活躍できる下地づくりができたことと思います。

こうした事業を通じて育成した人材がまちづくり、地域の活性化につながるよう活躍できる場を創造することも、私たち NPO のなすべきことと考えております。

■事業名 (旭川市指定管理事業)

旭川市市民活動交流センター指定管理業務

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

旭川市市民活動交流センター CoCoDe に関して、

- 1) 施設の使用承認／管理運営／維持管理
- 2) 市民活動団体の登録
- 3) 市民活動に関する情報収集・提供／相談・コーディネート／学習機会の提供／交流及び協働の促進
- 4) その他自主事業等

【事業期間】

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日



CoCoDe 見本市

【事業内容・事業成果・課題等】

1)施設の使用承認／管理運営／維持管理について

- ① 利用件数 4,042 件、利用者数 84,296 名、利用料金 8,230,526 円。
(前年度 利用件数 3,876 件、利用者数 95,592、利用料金 7,638,468 円)。
- ② 施設清掃業務、施設敷地内管理業務、点検等その他業務について所定通り実施。

2) 市民活動団体の登録について

- ① 市民活動情報サイト登録 202 件 (前年度 335 件)。
- ② 市民活動交流センター登録 (団体) 281 件 (前年度 479 件)。
- ③ 市民活動交流センター登録 (個人) 0 件 (前年度 4 件)。

3) 市民活動に関する情報収集・提供

- ① CoCoDe 通信の発行～毎月 800 部～1,000 部
- ② 利用者ニーズ把握のため、4 月と 12 月に指定管理者と利用者 6 名による会議実施。

4) 相談・コーディネート

- ① 日常の相談・コーディネート～NPO 設立相談等。
相談総数 97 件。内訳：個人 32 件、市民活動団体 63 件、企業 2 件)。(前年度 95 件)

5) 学習機会の提供について

- ① キッズワールド 2015
子供達が安心して楽しめる遊びや学びの場を提供。市民全体で子供達の健全な育成を支援するイベント。5 月 5 日実施。参加 1,300 名。
- ② 親子防災ワークショップ
「災害時の備えを知る」と題し、安田睦子氏の講和および防災グッズや段ボールトイレ紹介、新聞紙でスリッパ作成を体験。その他、非常食作り、試食体験。7 月 19 日実施。参加 41 名。
- ③ たいけん!!はっけん!!防サイキッズパーク！
NHK、旭川地方气象台主催による防災イベント。CoCoDe で防災グッズの展示と段ボールトイレ作り体験、防災 IT 教室等開催。7 月 26 日に実施。参加 1,660 名。
- ④ マイナンバー制度とその対策
社労士皆川あみ子氏を講師にお迎えしマイナンバー制度の基礎とその対策を学ぶ。11 月 5 日実施。参加 27 名。
- ⑤ 地球温暖化防止セミナー
国立環境研究所の江守正多氏を講師に温暖化対策をとった場合のリスクと、取らなかった場合のリスクについて学ぶ。他パネル展示や発電機付き自転車の展示。11 月 29 日実施。参加 78 名。
- ⑥ 旭川大学 NPO 研修
11 月から 12 月にかけて 3 回に分けて旭川大学のゼミの生徒に NPO の設立・運営についてレクチャーした。参加延数 13 名。
- ⑦ 会計講座・決算相談会
税理士佐藤はるみ氏を招き NPO 会計と決算の相談を団体毎にアドバイスした。3 月 26 日実施。参加 8 団体 10 名。

6) 交流及び協働の促進について

- ① CoCoDe トークサロン／インターナショナルカフェ
毎月一回様々なゲストによるテーマを茶話会形式で実施。参加総数 241 名。
- ② 北彩都ごみゼロ大作戦
CoCoDe、合同庁舎、科学館などの周辺施設の職員と周辺 5 町内会が合同で北彩都地区の一斉ごみ拾いを行い、47kg のごみを収集。4 月 19 日実施。参加 98 名。
- ③ パブコメワークショップ
「旭川市地球温暖化対策実行計画（案）」のパブリックコメントが募集されているのに合わせて、「旭川市地球温暖化対策実行計画（案）」（区域施策編）の「概要版」や「第 4 章 削減目標達成のための対策・施策」、「第 5 章 計画立案・推進体制・進捗管理」について、説明を受けた後、参加者それぞれが案に対しての書き込みや、コメントを出し合った。6 月 5 日実施。参加 19 名。
- ④ 秋の CoCoDe まつり
市民活動団体に活動紹介の場の提供、市民の活動への参加の促進、団体同士の交流、協働のきっかけ作りを目的で実施。また同時開催で『ソーシャルビジネスセミナー』を実施。11 月 3 日、参加 1,600 名。
- ⑤ 障がい者成人式
一般の成人式に出席することが難しい障がい者のための成人式を開催。1 月 9 日実施。参加 102 名。
- ⑥ 新年交流会
市民活動団体や企業、市民などが、新春に集まり団体同士の交流を通して、お互いの活動を知り、協働でよりよいまちづくりに取り組むための一助とする。1 月 16 日実施。参加 36 名。

7) その他自主事業等について

- ① CoCoDe 開設 5 年を記念して、CoCoDe 5 周年記念イベントの実施。
「CoCoDe 見本市」、「CoCoDe マルシェ」、「インターナショナルマルシェ」と 3 つのゾーンに分け、それぞれの市民活動団体の活動紹介・交流の場を提供。また「市民活動とまちづくり」と題して上田前札幌市長と山内旭川大学長の記念対談を実施。実施日は 6 月 20 日、21 日。参加 33 団体、1,491 名。
- ② キャンドルナイト in 旭川 2015
6 月 21 日夏至にあわせて「電気を消してスローな夜を」をテーマに開催される環境イベント。蜜蝋キャンドル作りやミュージックフェスタ、天体観測等を実施。参加 100 名。
- ③ 楽市楽座
7 月 31 日～8 月 3 日の間、一家 3 人で全国行脚する野外劇団楽市楽座の公演。水に浮かんだ回り舞台の上で上演。市内在住のゲストも日替わり出演。参加総数 151 名。
- ④ 河合純一氏講演会
6 大会連続でパラリンピックに出場し、金メダル 5 個を含む 21 個ものメダルを獲得し、全国初の全盲の普通学校教諭として 8 年間教壇に立つ河合純一氏の「夢」を

テーマに語る講演会。11月15日実施。参加65名。

⑤ クリスマスマーケット&キャンドルナイト

冬至に合わせて開催する環境イベント。登録団体のカントリープランと共催で12月19日実施。出展・出演の団体数が多く、参加者も1,600名と盛況だった。

⑥ あさひかわ雪あかり2016

市民手づくりのあさひかわ雪あかり。数百本もの手づくりスノーキャンドルで旭川の冬を幻想的に演出。1月30日、31日にキャンドル作成、2月9日～11日に実施。参加総数432名。

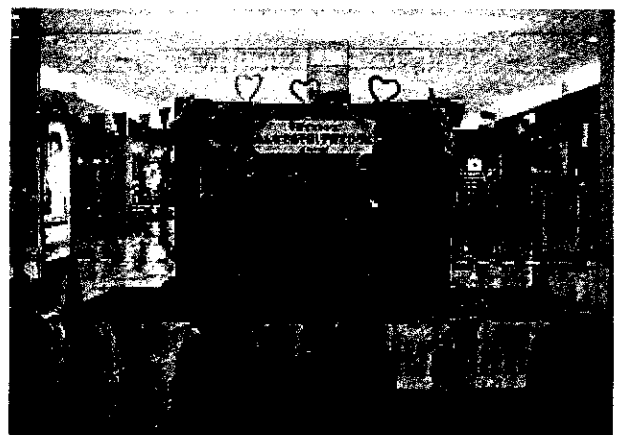
■事業名 (旭川市子育て支援部子育て支援課委託事業)
子育てサポーター実践講座

■NPO法人旭川NPOサポートセンター

【講座の様子】



【子育てマルシェの様子】



【目的】

出産から子育てまでの身近なところでの良き相談相手として、必要なサポートができる人材を養成し、市内約20か所ある子育てサロン等子育て支援を実施する団体の人材不足の解消及び旭川市子育て支援人材バンク等の登録者の拡大を図り、地域で親子を見守る支援体制の強化を図ることを目的としています。

【事業期間】

平成 27 年 8 月 27 日～平成 28 年 2 月 29 日まで

【事業内容】

1) 講座の開催

開催日時：平成 27 年 10 月 25 日（日）～12 月 3 日（木）計 7 日間 20.5 時間

開催場所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe（旭川市宮前 1 条 3 丁目）

旭川市神楽公民館（旭川市神楽 3 条 6 丁目）

受講者数：延 365 名

2) 受講生の自主企画イベント「子育てマルシェ みんなであそぼ！子育てひろば」開催

開催日時：平成 28 年 1 月 15 日（金）11：00～14：00

開催場所：イオンモール旭川西専門店街 1F グリーンコート

来場者数：358 名

内 容：◆ステージ リトミックコンサート バルーンアート 親子でコーデ 絵本の読み聞かせ

◆ブース 似顔絵コーナー スクラップブックング ファミリーフォト 木琴作り ハンドマッサージ デジタルアート

【事業成果・課題等】

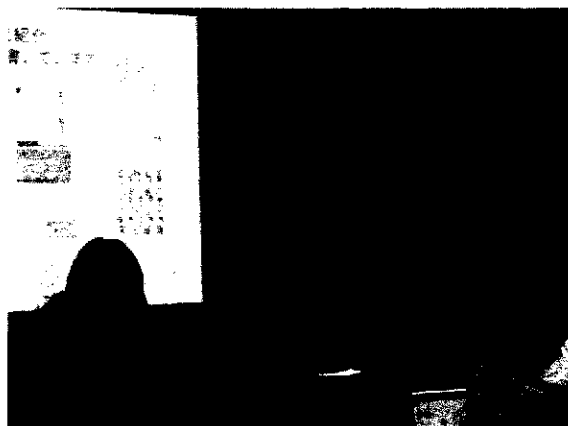
講座を受講された方々が、子育て支援者として、様々な形で関わりたいとの希望があり、今後当センターで実施している子育て関連事業においても活躍するための基礎知識を得て頂きました。

■事業名 (旭川市子育て支援部子育て支援課委託事業)

結婚サポーター養成講座

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【講座の様子】



【婚活応援フォーラムの様子】



【目的】

結婚から出産・育児につなげるための、身近なところでの良き相談相手として、必要なサポートができる人材を養成し、ボランティアとして登録することで、未婚の男女が結婚に結び付くために必要な情報提供等を実施できる体制をつくることを目的としています。

【事業期間】

【事業内容】

1) サポーターを養成するための講座の開催

開催日時：平成 27 年 10 月 23 日（金）～11 月 30 日（木）計 6 日間 19.5 時間

開催場所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe（旭川市宮前 1 条 3 丁目）

受講者数：延 259 名

2) 受講生の自主企画イベント「婚活応援フォーラム」開催

開催日時：平成 28 年 1 月 10 日（日）10：30～15：00

開催場所：旭川市市民活動交流センター ホール

来場者数：112 名（男性 25 名 女性 87 名）

内 容：◆1 部 「結婚へ一歩踏み出す第一印象づくりのアドバイス」トークセッション
5 名の講師がそれぞれの分野の専門家という立場から、婚活へ向けてのアドバイスをステージ上から発表した後、各ブースにおいて個々人にアドバイスを行った。

また札幌の NPO 法人全国結婚・家庭未来塾理事長による「お試し結婚相談所」の相談ブースを設け、未婚者や未婚の子を持つ親からの相談を受けた。

◆2 部 基調講演「昭和結婚からの脱却～おとこの婚活・おんなの婚活」

講師：白河桃子氏（少子化ジャーナリスト）

【事業成果・課題等】

行政が実施する初めての婚活応援事業ということで市民の関心は高く、参加者も多くいたが、単年度事業で終わってしまい、継続的な事業とはならなかった。受講生の活用をどうするかが課題である。

■事業名 （旭川市及び周辺 7 町委託事業）

ファミリーサポートセンター・上川中部こども緊急サポートネットワーク事業

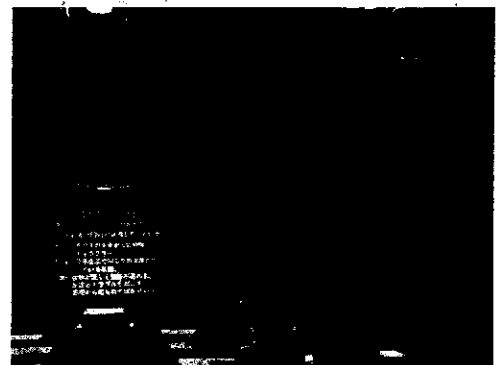


■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

旭川市より受託したファミリーサポートセンター「育児型」子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方が会員になり、お互いに地域の中で助け合いながら子育てをする会員制の相互援助活動を行う。また 1 市 7 町から受託した「上川中部こども緊急さぼねっと」は宿泊を含め、臨時的・突発的なニーズに、予め登録している地域の人子どもを預かる事業で、子どもを預かって欲しい人との橋渡しを行うことにより、地域の子育て支援・児童の福祉の向上を図る。

【事業期間】

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日



◎ファミリーサポートセンター「育児型」

【事業内容】

- 1) 会員の募集、登録業務
- 2) ハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報
- 3) 提供会員登録時の子育て支援者養成講座年2回実施(上川中部こども緊急さぼねっと合同)

日 程：前期 6月 9日.10日 ・ 後期 10月 19日.21日

講座数：6講座、9時間

参加者：前期 22名 ・ 後期 18名

- 4) 依頼会員と提供会員の事前打ち合わせの調整
- 5) 依頼時の相互援助の連絡調整
- 6) 会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための意見交流会実施

日 時：12月 5日(土) 第1部 紙コップでけん玉を作ろう

第2部 人形劇・パネルシアター・風船クイズ

(旭川福祉専門学校生)

参加者：25名

- 7) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議
- 8) サブリーダーの情報交換を行うサブリーダー会議毎月実施
- 9) 提供会員のレベルアップ講習会年2回実施

①日 時：10月 9日(金) さぼーとnavi 児童デイサービス見学と交流

参加者：20名

②日 時：H28年 2月 12日(金)「上川中部こども緊急さぼねっと」と合同研修

テーマ：「食べ物、からだとメンタルに及ぼす影響」

講 師：野原 暁美氏(保健師)

参加者：27名

- 10) 月毎に市へ報告及び助成請求
- 11) 年1回通信発行

【事業成果・課題】

- 1) 会員数 依頼会員 901名
提供会員 218名
両方会員 102名
総会員数 1,221名

- 2) 依頼総件数 2,941件 (キャンセル 101件)
援助総件数 2,840件 (H26年度 3,237件)

- ① 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り 351件
- ② 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 239件
- ③ 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり 33件
- ④ 学童の放課後の預かり 46件
- ⑤ 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 85件
- ⑥ 学童保育から帰宅後の預かり 14件
- ⑦ 子供の病気時の援助 3件

⑧ 子供の習い事等の場合の援助	548 件
⑨ 保育所・学校等の休み時の援助	137 件
⑩ 保護者等の外出の場合の援助	37 件
⑪ 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	6 件
⑫ 保護者等の他の子どもの学校行事の場合の援助	24 件
⑬ その他	1,317 件

◎上川中部こども緊急さぼねっと

【事業内容】

- 1) 利用会員拡大のため、1市7町及びハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報
- 2) スタッフ会員登録のための子育て支援者養成講座年2回実施（ファミリーサポートセンター合同）

日 程：6月 9.10.12.15.16.17 日・10月 19.21.23.27.28.30 日

講座数：13 講座、28 時間

参加者：前期 5月 22名 ・ 後期 10月 18名 （聴講生 5名）

- 3) スタッフ会員に対して年2回レベルアップ講習会実施

①日 時：9月 29日（火）

テーマ：「自分の好きな香りにつつまれながら、タッチングしてみましよう」

講 師：和久 恭子氏（アロマセラピールーム With a smile 主宰）

②日 時：H28年2月12日（金）「ファミリーサポートセンター」と合同研修

テーマ：「食べ物が、からだとメンタルに及ぼす影響」

講 師：野原 暁美氏（保健師）

参加者：27名

- 4) 利用会員入会手続及びスタッフ会員更新手続業務
- 5) 依頼時の利用会員とスタッフ会員の連絡調
- 6) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議
- 7) 月毎に市へ報告及び助成申請
- 8) 年1回さぼねっと通信「育輪（いくわ）」発行
- 9) スタッフ交流会
- 10) 月1回「すりーAの会」実施（開催日不定）
開 催：7回（研修会、意見交流会、おやつ作り等）
参加者：延84名

【事業成果・課題等】

1) 会員数	利用会員	962 名	
	スタッフ会員	147 名	
	<u>総会員数</u>	<u>1,109 名</u>	
2) 依頼総件数		1,101 件	
	コーディネート件数	864 件	（前年度 650 件）
	病気預かり	343 件	
	宿泊	14 件	
	元気預かり	465 件	

送迎 42 件

キャンセル 237 件(コーディネート後当日又は翌朝に連絡のあったもの)

ファミリーサポートセンター「育児型」は前年度に比べて、援助総数は1割強減少ではあったが、保育園、幼稚園の送迎はもとより、おけいこ事や塾通いなど、リスクを伴う自家用車での送迎依頼は、提供会員から拒否されることもありマッチングの難しさに直面している。今後リタイアした男性シニアにボランティアの声掛けを始めてみたいと考えている。

上川中部こども緊急さぼねっとの利用は昨年度より3割強増加している。旭川市は助成の枠を全世帯(ひとり親世帯8割、その他世帯5割)に広げたために利用しやすくなった。しかし、これらの事業はまだまだ認知度が低く周知活動に力を注ぐ必要がある。

H27 年子育て支援者養成講座講師

子育て支援とは	旭川市子育て支援部子育て相談課
身体の発育と病気	北海道療育園園長 林 時仲 氏
心の発達とその問題	旭川赤十字病院第1小児科部長 諏訪 清隆 氏
病児・病後児保育の基礎	道立旭川高等看護学院地域看護学科 佐藤 由香里氏
病児・病後児保育の基礎	保健師 野原 暁美 氏
保育の心	旭川大学短期大学部幼児教育学科非常勤講師 柴田 協子 氏
子どもの遊び	拓殖大学北海道短期大学非常勤講師 大和 正枝
子どもの遊び	北海道子育て支援ワーカーズ 木場 いずみ氏
子どもの世話	旭川市立神楽保育所所長 多田 恭子 氏
子どもの栄養と食生活	管理栄養士 木下 美智恵氏
子どもの安全と事故	日本赤十字社幼児安全法指導員 田中 久子 氏
事業概要	旭川NPOサポートセンター
望まれている支援のあり方	旭川NPOサポートセンター

【事業内容】

- 1) 利用会員拡大のため、1市7町及びハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報
- 2) 年2回スタッフ会員登録のための子育て支援者養成講座実施
参加者 5月 11名 ・ 10月 31名
- 3) スタッフ会員に対して年2回レベルアップ講習会実施
①7月22日旭川ファミリーサポートセンター合同「簡単なおもちゃの作り方」参加16名
②3月22日「絵本の読み聞かせ講習会」参加16名
- 4) 利用会員入会手続及びスタッフ会員更新手続業務
- 5) 依頼時の利用会員とスタッフ会員の連絡調整
- 6) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議
- 7) 月毎に市へ報告及び助成申請
- 8) 年1回さぼねつと通信発行
- 9) ホームページ更新(入会・利用状況)
- 10) スタッフ交流会 9月6日陶芸教室と10月17日作品完成観賞お食事会実施
- 11) 毎月最終金曜日の午前中は「すりーAの会」実施

■事業名 (旭川市委託事業)
旭川市母子家庭等日常生活支援事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

様々な事由により、一時的に日常生活に支障が生じている場合や生活環境等の激変により、日常生活を営むのに特に大きな支障が生じている場合に、その生活を支援する者を派遣するなどして、母子家庭及び父子家庭の生活の安定を図ることを目的としている。

【事業期間】

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

【実施内容】

- 1) 依頼時の利用者と家庭生活支援員の生活援助及び子育て支援の連絡調整実施
- 2) 関係機関との情報交換、連携を図るための会議実施
- 3) 月毎に市へ報告及び利用料の申請実施
- 4) 家庭生活支援員資格者の手続き実施

【事業成果・課題】

① 利用者数

利用会員登録	38 名	(前年度	44 名)
家庭生活支援員	15 名		
子育て支援員	31 名		

② 利用状況

	355 件	(前年度	140 件)
生活支援	264 件	(前年度	60 件)
子育て支援	85 件	(前年度	65 件)
宿泊	6 件	(前年度	15 件)

本年度は例年より利用会員の登録が少なかった。しかし利用は 2.5 倍になっている。ひとり親になり、生活の不安や子育ての不安を抱えている利用者も多く、また精神疾患で通院している方も多い。特に住居環境が悪く、生活支援では住居の清掃に多くの時間を費やしている。家庭生活支援員が家庭に入り清掃を済ませてくるが、それを維持する能力が少なく、家庭生活支援員のモチベーションが下がる様子が手に取るようにわかる。また、依頼の内容によっては子育て相談課との情報交換が必要になっている。

■事業名 (旭川市委託事業)

子育て交流活動推進事業実施業務

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

子育ては親だけでなく、地域社会全体の支えが大切ということから、子育てに関する、様々な関係機関や団体などが連携して、保育所や、幼稚園に通っていない児童を家庭において養育して

いる全ての保護者がいつでも子育てについて相談でき、また、保護者同士や子育て経験者等と交流できる環境づくりを行う。

旭川市内には子育て中の親が自主的に活動する育児サークルや、地域住民で子育てを支援する子育てサロンがあり、そうした団体に対して、活動の際の会場費の補助を行う。また子育て支援を望む団体・個人が人材バンクに登録し、育児サークルや子育てサロンに託児や、特技等でサポートを行う際の、コーディネートを行い、子育て環境の充実に寄与する。



【事業期間】平成27年4月1日～28年3月31日

【事業内容・事業成果】

- 1) 登録している育児サークルに対する支援を地域子育て支援センターと連携して行う。

会場費補助 43件、 222,660円

- 2) 育児サークル合同イベントの実施。

日程 H27年7月23日(木) 10:00～12:00

会場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

参加者 子ども173名 大人168名

- 3) 育児サークルへの支援員の派遣

派遣数 37件

派遣者数 97名

- 4) 育児サークル事業説明会の実施 2回

会場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

日程 ① H27年6月2日(火) 10:00～12:00 20名

② H27年11月25日(水) 10:00～12:00 13名

- 5) 子育てサロンへの支援

会場費補助 10件、 93,500円

派遣数 2件

派遣者数 5名

- 6) 子育てサロン意見交換会の実施 2回

会場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

日程 ① H27年5月29日(金) 10:00～12:00 19名

② H28年2月18日(木) 10:00～12:00 19名

- 7) その他の支援

子育て支援センター、児童センター、留守家庭児童会、市立保育所、保険所等

派遣数 98件

派遣者数 226名

- 8) 子育て人材バンクの登録 111名

- 8) 育児サークル・子育てサロンの支援に関するニーズ調査及び分析

【課題】

サークルは保育園や満3歳で幼稚園入園可能なこともあり、会員不足で解散、休会が出はじめている。サークルが魅力ある活動になるよう人材バンク利用を促しながら支援をしていく。また、サロン等も運営費不足など現状もあるが、企画支援を継続していく。

■事業名 (環境の保全と創造に関する旭川地域協議会請負事業)

出張うちエコ診断事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

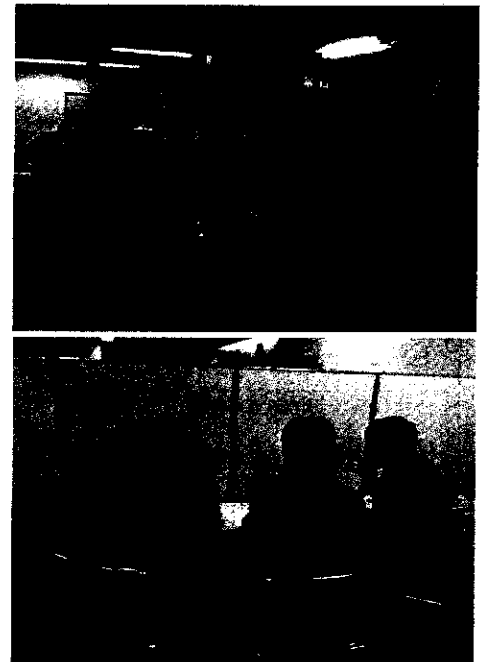
【目的】

旭川の家部門における温室効果ガス排出量は、全国、全道の平均と比較すると高い結果が出ている。

特に冬場の暖房等の利用から高くなっているが、居住者のライフスタイルも大きな要素となっている。そこで家庭からの二酸化炭素排出量の削減を進めるために環境省が推進している、うちエコ診断を旭川市内で行われる、企業のイベント時に行い、それぞれの家庭の実情に合わせて、実行性の高い省エネ対策についてアドバイスを行う。うちエコ診断士のアドバイスを受けた家庭で省エネ対策をとることにより、家庭部門からの温室効果ガス排出量削減につながる。

【事業期間】

平成 27 年 6 月 1 日 (月) ~ 平成 28 年 1 月 29 日 (金)



【事業内容】

- 1) 行事名：春のガス展 2015 (主催：旭川ガス株式会社)
- 2) 日 時：平成 27 年 6 月 13 日 (土) 9:30~18:00
- 3) 場 所：道北地域旭川地場産業振興センター (旭川市神楽 4 条 6 丁目 1-12)

参加者：20 名

- 1) 行事名：秋のガス展 2015 (主催：旭川ガスサービスショップ)
- 2) 日 時：平成 27 年 9 月 5 日 (土) 9:30~18:00
- 3) 場 所：西武旭川店 A 館 8F (旭川市 1 条 8 丁目)

参加者：18 名

【事業成果・課題】

アンケート結果では約 80%の方から「うちエコ診断」がとても参考になったとの評価を受けている。1か月後に調査した、事後アンケートからも、実際的に CO2 が削減されていることが数値で表され、うちエコ診断士のアドバイスを受けて、省エネ行動につながったことが実証された。

■事業名 (主催：「何を怖れる」旭川試写会実行委員会事業)

「何を怖れる」試写会&上野千鶴子氏トーク

■実行委員会事業

【目的】

70年代初頭に始まったウーマンリブ運動。その中心となって活動し、社会の変革を求めてきた女たちが、それから約半世紀を経て老年になっても、生き活きとフェミニズムを生きている。女性としての生きづらさから自己肯定を求めて活動してきた女たちが、何を残したのかをドキュメンタリー映像を通して現代の私たちに問いかける。



【事業期間】

平成 27 年 4 月 19 日 (土) 13:00~16:05

【事業内容】

「何を怖れるフェミニズムを生きた女たち」映画試写会&上野千鶴子氏トークセッション

- 1) 講 師：上野千鶴子氏他パネラー2名 コーディネーター 1名
- 2) 会 場：旭川市大雪クリスタルホール
- 3) 参加者：283名

■事業名 (環境省草の根活動支援事業)

エコ楽クッキングセミナー in 北海道 (主催：NPO 法人ふるさと回帰支援センター)

■ 協力事業

【講座の様子1 旭川会場】



【講座の様子2 旭川会場】



【目的】

北海道は冬が厳しいことから、民生（家庭）部門の二酸化炭素（CO₂）排出量が全国よりも多い地域です。環境のために暖房器具の使用を抑える必要はありませんが、毎日行うことから少しずつ CO₂ を減らすことができないかと思い、食べること（料理）に着目しました。

このセミナーでは、手間いらずでおいしいメニューのご紹介、フードマイレージをはじめとする地産地消のメリット、地元農家さんによるお話をひとつのパッケージにして、みなさまにお伝えしました。

【事業期間】

平成 27 年 11 月～平成 28 年 2 月

【事業内容】

1) 講座の開催

開催日時：平成 27 年 12 月 14 日（月）10:30～13:30

開催場所：旭川市ときわ市民ホール（旭川市 5 条通 4 丁目）

受講者数：17 名

2) アンケートの実施

「今回のセミナーを受けて、省エネにつながる調理を心がけようと思いましたか?」、「今回のセミナーを受けて、できるだけ地元の食べ物を食べたいと思いましたか?」と設問に対して、全員が「とてもそう思う」、「少しそう思う」という回答だった。

3) 4 週間後アンケートの実施

「どのくらい省エネにつながる調理を実践していますか?」という設問に対して「1～2 日に 1 回程度」という回答が 6 名等、全般的にセミナーに対して肯定的なものが多かった。

4) エコ楽レシピ集作成・配布

400 部配布した。

【事業成果・課題等】

「エコ楽レシピ集」もすぐに捌けてしまう程、関心の高さがうかがえた。また、このようなセミナーが増えて欲しいという意見も多かった。